

◎等妙寺旧境内主要遺構配置図



参道沿いの石積み

現在の等妙寺山門
旧境内の霊光庵跡地と伝えられる。

平坦部C (智光院跡) の方形基壇状遺

東地区 集石墓 1 の様子
五輪塔などの石造物の残欠が多数散在。
中央には方形堂があったと考えられる。

平坦部A (本坊跡) の石積み
幅25m、高さ6mの規模で当寺院最大の
石積み。中ほどの高さでやや控えを取る
二段で構築されている。

雁木遺構 (石階段状遺構) の様子
修行 (山上) へ向かうための石敷きの道。